

CASBEE® 京都-新築

評価ソフト(標準システム)

バージョン CASBEE京都-新築2018(v.1.0)
 ■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版

1) 概要入力

① 建物概要

■ 建物名称	(仮)辻製作所 新工場計画		
■ 建設地・地域区分	京都市南区久世東土川町366番1		6地域
■ 地域・地区	工業地域、法22条の地域		
■ 竣工年(予定/竣工)	2021年2月		予定
■ 敷地面積	1166.36	m ²	
■ 建築面積	699.60	m ²	
■ 延床面積	2,408.49	m ²	
■ 建物用途名	工場、事務所		
	事務所,工場,		
■ 階数	地上4F		
■ 構造	S造		
■ 平均居住人員	6,000	人(想定値)	
■ 年間使用時間		時間/年(想定値)	

② 評価の実施

■ 評価の実施	2020年2月20日	実施設計段階
■ 作成者	松村佳久男	
■ 確認日	2020年2月20日	
■ 確認者	松村佳久男	
■ LCGO2の計算	標準計算	→LCGO2算定条件シート(標準計算)を入力

2) 個別用途入力

① 用途別延床面積

事務所	1,031.69	m ²	事務所	1031.69	m ²
			官公庁		m ²
学校	0.00	m ²	幼稚園・保育園		m ²
			小・中学校		m ²
			小・中学校(北海道以外)		m ²
			高校		m ²
			大学・専門学校		m ²
物販店	0.00	m ²	デパート・スーパー		m ²
			その他物販		m ²
飲食店		m ²			
集会所	0.00	m ²	劇場・ホール		m ²
			展示施設		m ²
			スポーツ施設		m ²
工場	1376.80	m ²	うち省エネ計画対象面積	112.08	m ²
病院		m ²			
ホテル		m ²			
非住宅 小計	2,408.49	m ²			
集合住宅	0.00	m ²	専用部		m ²
			共用部		m ²

② 住居・宿泊部分の比率

■ 病院の延床面積のうち、病室部分の床面積の比率	
■ ホテルの延床面積のうち、宿泊部分の床面積の比率	
■ 集合住宅の延床面積のうち、住戸部分の床面積の比率	0.00

CASBEE® 京都-新築

標準システム 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮) 辻製作所 新工場計画	階数	地上4F
建設地	京都市南区久世東土川町366番1	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条の地域	平均居住人員	6,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2020年2月20日
敷地面積	1,166.36 m ²	作成者	松村佳久男
建築面積	699.60 m ²	確認日	2020年2月20日
延床面積	2,408.49 m ²	確認者	松村佳久男



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 3.0</p>
--	--	---

LR のスコア = 3.1

<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 2.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.3</p>
---	--	---

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>南区の工業団地において、最先端の24時間稼働工場を計画しており、周辺地域への音や振動に配慮した設計をしている。また、建築デザイン、施設内外のランドスケープデザイン(造園)にもこだわり、働く人たちが快適で、働くことがもっと楽しくなるようなお洒落な工場を目指し、地域ブランドの向上に貢献する。</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>断熱材の強化により外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮している。昼光率を高めに設定し光・視環境に配慮している。F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。補修必要間隔の長い配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。町並み建築物風景地区の届出を行っている。京都産桧ルーバーを採用、テラスを設ける、防犯性への配慮など地域性への配慮も行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。ハイサイドライトを採用するなど自然エネルギーの利用を行っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>自動水栓などに加えて、節水型便器を主要水栓の過半数に採用している。ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を使用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率を9.4%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 (仮)計製作所 新工場計画		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)				
スコアシート 実施設計段階		重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境					0.34		-	3.2
1 音環境				3.4	0.15		-	3.4
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音				4.2	0.40		-	
1 開口部遮音性能			サッシ遮音性能T-2以上	5.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-	
1.3 吸音				3.0	0.20		-	
2 温熱環境				2.5	0.35		-	2.5
2.1 室温制御				2.8	0.50		-	
1 室温			断熱材を強化し、外皮性能を上げている	2.0	0.38		-	
2 外皮性能				4.0	0.25		-	
3 ソーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30		-	
3 光・視環境				3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用				4.6	0.30		-	
1 昼光率		●自然 A(全国版準用)	事務所の昼光率:2.9%	5.0	0.60		-	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備		●自然 B(推奨内容)	ハイサイドライトを採用している	4.0	0.40		-	
3.2 グレア対策				1.0	0.30		-	
1 昼光制御		●自然 B(推奨内容)		1.0	1.00		-	
3.3 照度			事務所の設計照度:750Lx	4.0	0.15		-	
3.4 照明制御				3.0	0.25		-	
4 空気質環境				4.3	0.25		-	4.3
4.1 発生源対策				5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質			ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用	5.0	1.00		-	
4.2 換気				2.6	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		●自然 A(全国版準用)	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上	4.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33		-	
4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視					-		-	
2 喫煙の制御			全館禁煙としている	5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能					0.30		-	3.3
1 機能性				3.2	0.40		-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性				3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画		●大切 D(独自基準)		3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性				3.6	0.30		-	
1 広さ感・景観 (天井高)		●とも C(独自加点)	事務所の天井高3.835m	5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33		-	
3 内装計画		●自然 D(独自基準)	内装に配慮した計画としている	3.0	0.33		-	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30		-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		●大切 A(全国版準用)		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			給水:塩ビ:B、汚水、雑排水:塩ビ:B、Eは不使用	3.0	0.20		-	

2.4 信頼性					3.0	0.20			
1	空調・換気設備				3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3	電気設備				3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5	通信・情報設備				3.0	0.20			
3 対応性・更新性					3.6	0.30			3.6
3.1 空間のゆとり					4.6	0.30			
1	階高のゆとり				5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)	3階(事)、1階(工)の階高3.9m以上 壁長さ比率 3階(事)で0.283、1階(工)で0.226としている	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30			
3.3 設備の更新性					3.4	0.40			
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)	仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる	5.0	0.10			
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)	仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる	5.0	0.10			
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.36			3.0
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)	町並み建造物修景地区の届出を行っている	3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●とも 自然	A'(全国版準用)	京都産檜ルーバーを採用、テラスを設ける、防犯性への配慮	3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-			3.1
LR1 エネルギー					-	0.40			2.7
1 建物外皮の熱負荷抑制				断熱性能を上げ、建物の熱負荷を抑制している	5.0	0.09			5.0
2 自然エネルギー利用		●自然	A(全国版準用)	ハイスାଇドライトを採用している	4.0	0.11			4.0
3 設備システムの高効率化		●自然	C(独自加点)	[BE][BEm] = 0.92	2.4	0.57			2.4
4 効率的運用					2.0	0.23			2.0
集合住宅以外の評価					2.0	1.00			
4.1	モニタリング				3.0	0.50			
4.2	運用管理体制				1.0	0.50			
集合住宅の評価					-	-			
4.1	モニタリング				-	-			
4.2	運用管理体制				-	-			
LR2 資源・マテリアル					-	0.30			3.3
1 水資源保護					3.4	0.20			3.4
1.1 節水				自動水栓などに加えて、節水型便器を主要水栓の過半に採用している	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減					3.2	0.60			3.2
2.1 材料使用量の削減		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		●大切	A(全国版準用)	躯体+LGS+仕上し、躯体と仕上材が容易に分別可能、OAFロアを採用	5.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.7	0.20			3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避					4.0	0.70			
1	消火剤				-	-			
2	発泡剤(断熱材等)			ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を使用	5.0	0.50			
3	冷媒				3.0	0.50			
LR3 敷地外環境					-	0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮				ライフサイクルCO2排出率94%	3.2	0.33			3.2
2 地域環境への配慮					3.6	0.33			3.6
2.1 大気汚染防止				燃焼機器を使用していない	5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.25			
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.33			
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.33			
3	交通負荷抑制				5.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制			ゴミの種類や量を推計し、ゴミの分別回収ボックス、ストックスペース等を計画している	5.0	0.33			
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40			
1	騒音				3.0	0.50			
2	振動				3.0	0.50			
3	悪臭				-	-			
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制					3.0	0.40			
1	風害の抑制				3.0	0.70			
2	砂塵の抑制				-	-			
3	日照阻害の抑制				3.0	0.30			
3.3 光害の抑制					4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			チェックリストの項目の過半を満たし、配慮事項の過半を満たしている	5.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●とも	B(推奨内容)		3.0	0.30			

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素貢献創出に係る項目 重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる
重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる